

KSKS

No.114

21.8.28

ゆいゆい通信



編集人 社会福祉法人 寧楽ゆいの会
〒631-0823 奈良市西大寺国見町3-5-5
TEL/FAX 0742-41-6039
URL <http://narayuinokai.or.jp>

定価 1部50円
年間 300円

◆法人からの報告

新理事長からごあいさつ … 1

◆Reports

法人決算報告 … 2
法人役員体制 … 3
さわやぎ … 3

◆Reports

歩っと地活 … 4・5

ぽすと/こもれび生訓 … 6

こもれびB/D-PORT … 7

◆ちょっと一息 … 8

◆Thanks

寄付お礼 … 8

後援会費納入者 … 8

2021年6月、新しく理事長に就任いたしましたの
でご挨拶いたします。

前任の中舎有子には14年の長きに亘り、ご支援・
ご協力をいただき、ありがとうございました。

私の寧楽ゆいの会との出会いは、精神科病院で勤
務していた1991年、家族や支援者、関係者による
「奈良県精神障がい者の生活を支援する会」との関
わりからでした。奈良市内に開設された「サロンさわ
やぎ」に家族の方達や支援者と交代で関わりました。
メンバーはそれぞれ思い思いに過ごし、当番の家族
や支援者は場所の管理人として一緒に過ごしました。
複数の精神科医療機関でデイケアが開設され、地
域で暮らす精神障がい者の生活支援や医療支援が
拡がり始めた頃でした。

その後、小規模作業所となった「サロンさわやぎ」
には運営委員として、寧楽ゆいの会が法人化された
後は評議員、理事として外部から関わりました。生活
を支援する事業は、内職的作業から始まり、地域に
出かけての請負作業やメンバーと職員が協働して事
業所を運営するクラブハウス方式など、多様に展開
され、生活や就業の相談支援事業に広がっていきま
した。メンバーは、困ったときに相談できる人がいる
作業所で役割や仕事を分担して、行動を自らの意
志で決める体験をしてきました。こうした中で、医療
機関で出会う患者さんや地域の事業所を利用する

メンバーさん、それぞれに
関わる貴重な経験をさ
せていただきました。

「サロンさわやぎ」から
30年の時が経ちました。

寧楽ゆいの会の理事職

員として日々、事業運営に関わりながら、精神医療
や生活支援事業の変化の大きさを感じています。近年、ゆいの会の利用者実態調査から、高齢利用者の増加や通所事業所の利用者の減少がみられます。また、支援の手が届かない人たちや、困りごとが複合的・重層的で制度や事業を利用しにくい人の存在をひきこもり支援や介護保険、訪問型の事業者などから耳にすることが多くなっています。こうしたことから、利用者実態調査に高齢利用者の項目を追加したり、事業のあり方の検討を始めています。

寧楽ゆいの会の活動は、これまでも多くの方々
のご支援やご協力を得て続けることができました。
様々なご意見やご指摘、励ましを頂き大変感謝して
おります。これからも、草創期の人達の想いを引き継
ぎつつ法人運営に関わっていく所存です。

変わらず、ご指導、ご鞭撻いただきますよう宜しくお
願い申し上げます。

社会福祉法人寧楽ゆいの会
理事長 庄野 千恵子

